

Together

Shukutoku University Magazine
No.242 | 2024.3.15



学長メッセージ

卒業生のみなさんへ

From Graduates

理事長賞受賞者、総代から



看護栄養学部



栄養学科総代
本田 愛佳



看護学科総代
林 不ず



理事長賞
梅澤 悠



コミュニティ政策学科総代
朝比奈 舞



理事長賞
木暮 弥野

**多くの経験から
成長できた4年間**
大学生活は、講義や臨地実習、ゼミ活動を通じて様々なことを経験し、成長できた4年間でした。大学での学びを心に刻み、1人ひとりに合わせた方法を考えられる管理栄養士になれるよう今後も日々精進して参ります。最後に、いつも寄り添い支えてくださった先生方・関係者の皆様から感謝を申し上げます。

人と人の繋がりに感謝を
オンラインから始まった大学生活でしたが、熱心にご指導いただいた先生方や目標に向かって努力する学友に励まされ、人と人の繋がりの大切さを実感した4年間でした。また、実習先での出会いや多くの学びが私自身を成長させてくれた、かけがえない宝となりました。この感謝と経験を胸に、今後も精進してまいります。

学びと成長の4年間
コロナ禍に始まった大学生活でしたが、多くの方々の助けを受けながら、講義や実験、臨地実習を通して栄養の奥深さや意義など様々なことを学んだ4年間でした。この4年間に関わった全ての方々への感謝を忘れず、学んだことを少しでも活かせるよう精進してまいります。

**素敵な方々に囲まれて
成長できた4年間、
そしてスタートラインへ**
コロナ禍に始まった大学生活、制限をされながらもできることは妥協せず、取り組んだ4年間でした。自分の力だけでなく、大学で出会った素敵な友人、先生方のお陰で成長できたと思います。そして、4月からは夢だった公務員の道へ。4年間の学びと周りの方々への感謝を忘れず、これからも精進していきます。

貴重な経験と出会いに感謝
4年間の学生生活は、自身を成長させるチャンスと多くの方との出会いに恵まれました。コロナ禍での制限もありましたが、その中で何ができるかを模索したことで、今までにない体験をし、多様な価値観に触れることができました。これまで関わっていただいた全ての皆様に感謝し、これからも精進していきます。

経営学部



編入生総代
陳徐 怡萌



観光経営学科総代
杉山 菜月



経営学科総代
弘中 美砂季



理事長賞
渡邊 琴美

コロナ禍で、楽しい2年間
2年間を通して、様々な人と繋がって、楽しい学生生活を過ごしました。短い2年間で、豊富な知識だけではなく、社会人としての正しい礼儀や必要な教養なども身につけました。そのため、自分の視野もどんどん広がりました。今後の道で学んだことを活用して、頑張っていきたいと思えます。

大学生活を振り返って
コロナ禍で思い描いていた学生生活を送れない期間もありましたが、自ら考えて行動して授業以外に課外活動等に取り組み、悔いなく充実した学生生活を過ごすことができました。今後も目標を持ち、日々精進してまいります。ご指導いただいた先生方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

**自分が興味あることに
果敢に挑戦した4年間**
大学生活では、学生スタッフを初めとした様々な活動を通して、多くのスキルや経験を身につけることができました。これも多くの方々に支えて頂いたからこそ、とても多くある4年間にになりました。これからはその御恩を返せるよう、大学で得た経験を活かして、社会人としてより精進して参りたいと思います。

**人との出会いで成長し、
貴重な経験を得ることが
できた4年間**
コロナの影響で、入学直後から慣れない環境で試行錯誤しました。しかし、親身にご指導いただいた先生方、辛い時も支えてくれた友人、アドミッションスタッフやサークル、ゼミなど、多くの仲間を支えられ、充実した大学生活を送ることができました。4年間で得た貴重な学びを糧に、これからも精進して参ります。



人文学部



表現学科総代
山根 早貴



歴史学科総代
戸ヶ崎 太郎



理事長賞
小泉 順



こども教育学科総代
岡野 結衣



理事長賞
山添 桂花

**当たり前前の大切さを感じながら
自分自身と向き合った4年間**
コロナ禍でスタートした大学生活、初めてのことばかりで戸惑いや苦労も多々ありましたが、乗り越えた経験が人生の糧になっていると思います。表現学科で学んだことが進路を選ばずかけがえのない、自分の夢を見つけることに繋がりました。支えてくださった家族・友人・仲間・教職員の皆様、本当にありがとうございました。

**仲間との化学反応は
「利他共生」へ**
大学では、助け合いの大切さを学びました。学園祭にてサークル出展を行ったことが思い出深いです。雑誌制作や射的などの企画は、仲間の協力が無ければ実現出来ませんでした。大学生活の中で人間同士の化学反応が起き、本学の利他共生を学べたと実感しています。歴史学科の先生方と仲間たちに感謝申し上げます。

**変化した生活の中、多くの人に
支えられ、多くを学んだ4年間**
入学年からの新型コロナウイルスの影響により変化した生活に、学生だけでなく多くの方が苦労したと思います。その中でも掛けず学業やサークル活動に打ち込むことができたのは、家族や友人、教職員など多くの人が私を支えてくれたからです。私自身もこの様に他者を支えられる存在になれるよう、今後も努力して参ります。

自分を信じて精進し続けること
大学生活の初めはコロナ禍で苦境に立たされたことが、その中でも日々課題を追求し多くのことに励んだ4年間でした。努力と挑戦を通して得られる喜びが自信となり、その自信から粘り強く前向きに取り組むことの大切さを学びました。4年間の学びや経験を糧に、支えてくださった方々に感謝の気持ちを忘れず日々精進して参ります。

**人との関わりを通して
学んだこと**
私にとっての大学生活は、自身の課題と向き合った4年間でした。小学校現場での交流は、教師になる目標を日々明確にしました。原動力となったのは、目標に向かい学び合った友人、先生方の支えです。この経験を糧に人との関わりを大切に、柔軟で芯を持った教師になれるよう、子供と共に学び続け精進して参ります。

卒業生のみなさんへ

卒業生のみなさん、ご卒業までにおめでとうございます。
教職員を代表して心よりお祝い申し上げます。

みなさんは、本日の卒業式をどのような気持ちで迎えていますか。

卒業に至るまでの道のりは、決して平坦ではなく、さまざまな困難に出会い、それを一つひとつ乗り越え、学位を得るところまで到達できたのだと思います。改めてみなさん一人ひとりの努力を称えらるとともに、みなさんを温かく見守ってこられたご家族をはじめ、支えていただいたすべての方々に感謝申し上げます。

特に、みなさんは入学した時から新型コロナウイルス感染症の拡がりのなかで学び続け、授業方式や学修課題への対応、友人との関係の築き方やサークル活動のあり方など、大きな変更を余儀なくされ、戸惑われたことも多かったと思います。また、今年の元日には能登半島において大きな地震が発生し、多くの方々が被災され、亡くなられました。ご実家が被害を受けた学生もおり、この場をお借りしてお見舞い申し上げます。当たり前の日常は、実は当たり前ではなく、「諸行無常」、世のすべてのものは移り変わり、永遠に変わらないものはないということを、改めて実感致しました。

また、世界の動向を見ても、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻やイスラエルとハマスの武力衝突、ミャンマーの軍事政権による国民への弾



圧、民主主義社会や平和も永遠ではないことも感じたことと思います。

今後の日本、そして世界も、変わらないものは何もなく、私たちは常に変化する社会の中で生き抜いていかねばなりません。みなさんが学生時代に学んだこと、考えたこと、経験したこと、そのすべてが、これから生きるみなさん自身の力となります。自分が置かれた状況を冷静に受け止め、判断し、自らの力で歩みを進めてほしいと思います。

「他者に生かされ、他者を生かし、共に生きる」という建学の精神(利他共生)を掲げる本学を卒業するわけですから、あなたが社会の中で果たしうる役割を考えて、行動してほしいと願っております。

そして、人生は長いですから、途中で生きづらさを感じ、壁にぶつかったときは、ぜひ母校を訪ねてほしいと思います。

本日は本当におめでとうございます。

淑徳大学 学長 山口 光治

祝卒業 各学部長紹介



人文学部
小川 博章



経営学部
千葉 千枝子



地域創生学部
矢尾板 俊平



教育学部
山口 晋治



看護栄養学部
林 雅晴



コミュニティ政策学部
芹澤 高斉



総合福祉学部
千葉 浩彦

From Graduates

総合福祉学部



実践心理学科総代
阿部 倉 実夢



教育福祉学科総代
和泉 玲菜



社会福祉学科総代
岡村 彩乃



理事長賞
多根 瑞喜

大事なことは自分を信じること、努力し続ければ夢は実る
4年間、興味がある学問の専門知識を深めると同時に、多角的な視点を持つことの重要性を学びました。これらの学びを通じて、自己成長やキャリアの目標を実現することができました。充実した大学生活を送ることができたのは、熱心な指導とサポートを下された教職員の皆様のおかげです。深く感謝申し上げます。今後自分自身を信じて、新たな夢に向かって努力し続けます。

4年間の学びを未来へ繋げる
卒業という節目を迎えることができたのは、4年間お世話になった先生方、家族そして友人の支えのおかげです。深く感謝申し上げます。大学生活では、授業のみならずノートテイクや障害児臨床実習、大学外等で様々なことを経験しました。経験から得た学びを活かし、淑徳大学ならではの福祉マインドを持った保育者になれるようこれからも精進してまいります。

成長できた4年間
まず、お世話になった先生方、友人や家族に深く感謝申し上げます。入学時からコロナ禍という特殊な環境を乗り越えられたのは、関わってくださった皆様のおかげです。淑徳大学で過ごす4年間を通して学ぶことの楽しさを知る事が出来ました。社会人生活の中でも学び続ける姿勢を忘れずに日々精進してまいります。

未来に繋げる学びのはじまりとしての4年間
「指導いただいた教職員の方々、支えてくれた家族、共に学びを深めた仲間たちを始め、関わった全ての皆様に深く感謝いたします。コロナ禍の最中始まった学生生活でしたが、淑徳大学で社会福祉について学んだ時間は誇りであり、大きな財産です。今後は、大学での学びを基盤に社会貢献、自己研鑽に努めてまいります。」

理事長賞
受賞者、
総代から

Message





令和5年度 各賞受賞者

●千葉キャンパス

■ 長谷川研究奨励賞	社会福祉学科 教育福祉学科 実践心理学科 コミュニティ政策学科 コミュニティ政策学科	豊田 理佐 林 優衣 吉野 真 木村 駿介 阿部 優希
■ 浄土門主賞	コミュニティ政策学科	田中 袖衣
■ 一般社団法人全国保育士養成協議会会長表彰	教育福祉学科	松原 哲平
■ 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰 社会福祉士養成課程	社会福祉学科	秋庭 愛美
■ 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟表彰 精神保健福祉士養成課程	社会福祉学科	福永 鈴音
■ 千葉県知事賞	社会福祉学科	尾形 康太
■ 千葉県私立大学短期大学協会会長賞	実践心理学科	栗原 晴海

●埼玉キャンパス

■ 浄土門主賞	こども教育学科	小枝 華乃
■ 一般社団法人全国保育士養成協議会 会長表彰	こども教育学科	関口 穂
■ 公益社団法人全埼玉私立幼稚園連合会 会長表彰	こども教育学科	棚澤 一世
■ 公益社団法人日本仏教保育協会 協会賞	こども教育学科	内沼 ひかり

●千葉第二キャンパス

■ 千葉市大学市長賞	栄養学科	森川 彩
■ 千葉県看護学生等知事表彰	看護学科	佐藤 よし乃
■ 一般社団法人日本私立看護系大学協会会長表彰	看護学科	小川 桃佳
■ 一般社団法人全国栄養士養成施設協会会長表彰	栄養学科	安藤 愛華
■ 公益社団法人日本フードスペシャリスト協会会長表彰	栄養学科	豊田 愛未
■ 千葉県看護協会看護学生表彰	看護学科	鈴木 玲央

●東京キャンパス

■ 長谷川研究奨励賞	歴史学科	峰 弦汰
■ 淑徳大学特別賞	表現学科	江口 直哉
■ 浄土門主賞	表現学科	町田 瑞季

発行日 | 2024年3月15日

編集 | 淑徳大学 大学広報誌編集委員会

発行 | 淑徳大学 大学事務局



□千葉キャンパス

総合福祉学部 コミュニティ政策学部
大学院 総合福祉研究科
〒260-8701
千葉県千葉市中央区大蔵寺町200
Tel 043-265-7331

□埼玉キャンパス

経営学部(令和4年度入学生まで)
教育学部 地域創生学部
〒354-8510
埼玉県入間郡三芳町藤久保1150-1
Tel 049-274-1511

□千葉第二キャンパス

看護栄養学部
大学院 看護学研究科
〒260-8703
千葉県千葉市中央区仁戸名町673
Tel 043-305-1881

□東京キャンパス

経営学部(令和5年度入学生より)
人文学部 淑徳大学短期大学部
〒174-8631
東京都板橋区前野町6-36-4
Tel 03-3966-7631



公式HP



公式Instagram



公式YouTube



公式X



アドミッションセンター
公式X



公式Facebook



淑徳大学

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

淑徳大学は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

淑徳大学は持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け、積極的に取り組んでいます。

その一環として、この印刷物はFSC®森林認証紙と、地産地消・輸送マイルージに配慮したライズインキを使用しており、環境に配慮した印刷物として発刊しています。